

第44回 国体 北海道大会成年1部で5位入賞

第44回国民体育大会サッカー競技は、9月18日から北海道室蘭市で開催され、兵庫は少年男子と成年男子1部に出場した。

【少年男子】
▷1回戦

兵庫(選抜) 2 $\begin{pmatrix} 0-0 \\ 1-1 \\ 0-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$ 山口(選抜)

▷2回戦

兵庫(選抜) 2 $\begin{pmatrix} 1-1 \\ 1-2 \end{pmatrix}$ 千葉(選抜)

【成年1部】 (9/18~22)

▷1回戦 兵庫(選抜) 1 $\begin{pmatrix} 1-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$ 0 岩手(選抜)

12分、MF山名→FW福田一笠谷 S

▷2回戦 兵庫(選抜) 2 $\begin{pmatrix} 1-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$ 0 大分(選抜)

1分、笠谷、相手GKのミスキックを右サイドで取ってドリブル・シュート。後半14分、DF酒池→MF八木が左からセンターリング山名走りこんでシュート。八木が個人技を発揮し、ほとんどの攻めにかからんだ。

▷準々決勝 兵庫(選抜) 0 $\begin{pmatrix} 0-2 \\ 0-1 \end{pmatrix}$ 3 神奈川

15分、30分、いずれも左サイドのFKから失点。後半3分、相手のクロスパスをDF山本がヘッド、こぼれ球をGK松岡がパンチしたが短い、取りにくいところをかわされてセンタリング、無人のゴールにHSを決められた。兵庫も必死の反撃をし、後半15分八木のGKをDF西田がボレーS。25分山名、福田とつないで走りこんだ酒池が強襲。30分福田のパスを酒池が絶妙のセンターリング。八木が頭で合わすが、惜しくもゴールを割れず、そのままタイムアップ。

▷5、8位決定予備戦 兵庫 1 $\begin{pmatrix} 1-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$ 0 北海道

20分、山名が相手のパスをカット、そのまま右サイドよりドリブル、右足の強いシュートを決め、これが決勝点となる。

▷5、6位決定戦 兵庫 1 $\begin{pmatrix} 0-0 \\ 0-0 \\ 1-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$ 0 新潟

連戦の5試合目となって、両チーム共運動量が少なく、盛り上がりえないまま延長へ、前半MF湊からのワンツーが小丸へ、小丸がスルーして笠谷からのワンツーを再び山名が強シュート、ゴール。山名は計3得点。

以上によって兵庫成年1部は、5位となり総合でも8位になった。 松本 猛

【成年男子1部】 監督兼選手 細谷一郎
選手 松岡泰典 西田正雄 齊藤一彦 山本伸吾 横田滋 酒池俊雄 小丸俊幸 湊邦三 八木清悟 山名幸男 笠谷忠幸 安東法郎 福田貴之 荒滝光彦

【少年男子】 監督 八木重光(八代学院高教)
選手 山田栄一郎 日下部孝夫 井上浩次 藤井泰之 小野山量大(滝川第二) 山本隆之(伊丹西) 原田定則 神川望 梅沢学(神戸弘陵) 堀家公雄 山本圭一(西宮東) 豆成修 久保田直(御影工) 井川純也(福岡高) 吉田竜司(三原)

▷第44回国体近畿ブロック大会結果

▷成年1部

8月19日 新町球場

8月18日 榎原球場

兵庫 奈良 和歌 大分 滋賀 京都

▷成年2部

8月20日 新庄グラウンド

8月19日 新町球場

8月18日 榎原球場

京都 和歌 奈良 兵庫 大分 滋賀

▷少年部

8/18 新庄グラウンド 新町球場

8/18 大分 1-2 京都 奈良 1-0 和歌山

京都 0-1 兵庫 和歌山 1-3 滋賀

大分 0-3 兵庫 奈良 1-1 滋賀

8/19 京都 8-0 和歌山 1位 兵庫 本大会出場

奈良 2-3 大分 2位 滋賀

兵庫 2-1 滋賀 3位 京都 大阪

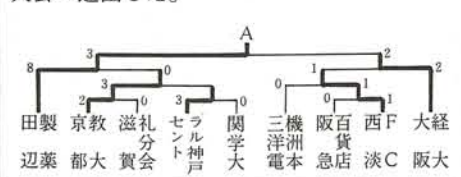
京都 0-3 奈良 4位 大分

大分 4-0 和歌山 5位 奈良

6位 和歌山

天皇杯全日本選手権関西大会

第69回天皇杯全日本選手権関西大会は、10月22日から神戸中央、うつばサッカー場ほかで、38代表が参加して開催された。各ブロックの決勝は11月11、12日に行われ、田辺製薬、NTT関西、紫光クラブ、大阪ガスが、全国大会へ進出した。



有宏スポーツ

東灘区御影本町4丁目11-9 ☎078(412)2601
阪神御影駅南側西へ30m

塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5-26 ☎078(576)0870
高速大開駅東

MEN'S SHOP MAC

三宮センター街店 ☎078(391)0895
プレザージュ・トーアロード店 ☎078(391)0896
ドルチェマックス・センター街店 ☎078(332)0141

ヤノ運動用品

本店 中央区三宮町3-8-1 ☎078(391)1121
ファイブ店 中央区三宮町2-7-8 ☎078(331)4578
六甲、長田、白川台、名谷、西明石、高砂、姫路、岡山

スメラ

湊川店 湊川プラザ2階 ☎078(511)2234
鈴蘭台店 ダイエー西側 ☎078(592)0470

加茂トアロード店

中央区三宮町3-8-8 ☎078(392)0234
JR元町駅南側東へ100m

サッカーショップPKF

中央区下山手通3丁目3-10 ☎078(332)5519

ワールドスポーツ

東灘区深江北町4丁目7-3 ☎078(453)2186
阪神深江駅北側信号西

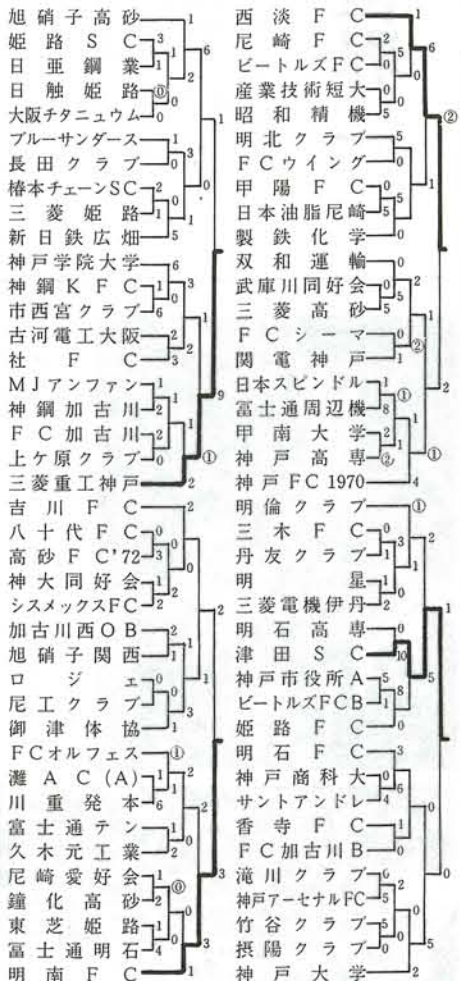
天皇杯全日本選手権兵庫大会

三菱、西淡、明南、津田が代表に

第69回平成元年度天皇杯兵庫大会は、4月から7月まで、県下13グラウンドで、80チームが参加して行われた。その結果、三菱重工神戸、明南FC、西淡FC、津田SCの4チームが、各ブロックの1位となり、関西大会への出場を決めた。

会場

新日鉄夢前グラウンド 神戸総合運動公園サブ旭硝子高砂グラウンド 神戸総合運動公園球場川重発本グラウンド 加古川日岡陸上競技場日触姫路グラウンド 富士電機神戸グラウンド三菱電機伊丹G 明石二見グラウンド神戸製鋼加古川G ポートアイランド球場甲南大学六甲アイランドG



神戸市社会人運営会議予定

次回 2月15日(休)

18時30分から神戸市立勤労会館4階会議室。社会人リーグに参加している各チームの代表者は必ず一人出席して下さい。

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒650 神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
神戸市サッカー協会 ☎078-232-0753
なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。



ユ-ハイム

高校選手権 兵庫県大会

滝川第二2年ぶり3度目の栄冠

平成元年度兵庫県高校選手権中央大会兼第68回全国高校選手権県予選は10月28日から11月12日までの6日間、県総体ベスト8校と地区予選を勝ち抜いてきた16校の計24校によって熱戦が展開された。3校づつ8ブロックに分かれて1次リーグを行い、滝川第二、飾磨、神戸弘陵、明石北、福岡、西宮東、関学の各校が決勝トーナメントに勝ち進んだ。決勝トーナメント1回戦は滝川第二、神戸弘陵、明石北、西宮東がそれぞれ勝ちベスト4にコマを進めた。11月9日、神戸中央球場で行われた準決勝の第1試合は滝川第二と神戸弘陵が対戦、昨年の決勝と同じ顔合わせとなったが滝川第二が2-0で勝ち雪辱を果たした。第2試合は西宮東が終始攻めくり、4-1で明石北に快勝した。11月12日、神戸中央球場で滝川第二と西宮東で争われた決勝は滝川第二が優位に試合を進め、前半32分に1点を先行、後半は無得点に終わったものの一方的なゲーム運びで西宮

東を退けた。滝川第二は2年ぶり3度目の栄冠。

優勝した滝川第二は1次リーグ、決勝トーナメントの計5試合をすべて無失点で切り抜けた。今夏の県高校総体も失点はゼロ。守りには絶対の自信を持っている半面、シュートの決定力不足も目に付いた。西宮東との決勝では何と32本のシュートを放ち、決まったのはゴール前の混戦からの1本だけ。黒田監督は「体力、スピードアップをさらに図ると同時に得点能力を高めたい」と話していたが、正にその通りだろう。

滝川第二は過去2度全国高校選手権に出場しているがいずれも初戦負けを喫している。インタハイでベスト4に入った昭和62年度にも1回戦の壁を破れなかった。悲願の初戦突破を果たすためにも得点力のアップは緊急の課題といえよう。滝川第二には正月の晴れ舞台で、ぜひ兵庫の「高校サッカー」の意地を見せてほしい。1回戦の相手は平工(福島)

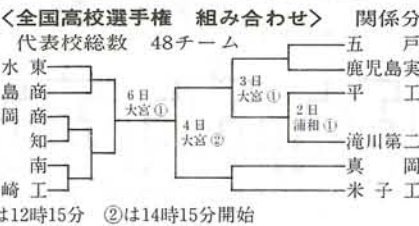
マ2年ぶり3度目の全国大会への切符を手にした滝川第二高イレブン



県大会をふり返って

滝川第二高サッカー部 監督 黒田和生
県大会を振り返ってみると、思うようにいかない準備の日々が、かえって充実していた感じがします。全国総体が終り、国体の練習会、大学入試、就職試験などで仲々準備が、思うように行かないものですが、1、2年生の追いあげに3年生が最後の頑張りを見せ、うまく乗り切ることが出来ました。

運動量の不足から、2トップの完成には至らず、GK山田、DF鎌田、日下部、MF森本でゴール前を固めて極力失点を防ぎ、ゲームメーカー藤井を軸にした攻撃に頼らざるを得ず、苦しい展開の連続でした。特に準々決勝の対飾磨戦では、本当に守り抜いた試合でしたが、チームは一つにまとまり以後盛り上がりました。県大会を三つ制し、しかも無失点で今年度の県内公式戦を終えたことは称賛に値すると思います。しかし、全国の壁というレベルはまだ高く、今後、関係の皆様方と共に研修していかねばいけないと思っています。来たる全国選手権大会では、なんとしても初戦を突破し、勢いに乗りベスト4へ進め、兵庫の力を見せたい決意でいます。何卒ご声援よろしくお願いします。



全国高校選手権における最近10年間の兵庫県代表校の戦績

1979年度	東 灘	0-1	秋 田 商
1980年度	御 影 工	4-1	室 蘭 大 谷
	〃	1-4	雄 崎
1981年度	御 影 工	①-1	安 積 商
	〃	1-2	秋 田 商
1982年度	御 影	1-4	雄 崎
1983年度	北 須 磨	1-3	岐 阜 工
1984年度	伊 丹 西	0-1	岐 阜 工
1985年度	御 影	4-0	上 田 東
	〃	0-2	都 城 農
1986年度	滝川第二	0-1	岐 阜 工
1987年度	滝川第二	2-4	旭
1988年度	神戸弘陵	0-3	清 水 商
1989年度	滝川第二		平 工



平成元年度兵庫県高等学校選手権大会結果 (予選リーグ)

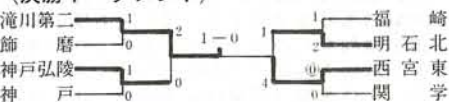
Aグループ	滝二	城西	明西	Eグループ	福岡	三原	洲本
滝川第二		△0-0	○7-0	福 崎		○1-0	○2-0
明石城西	△0-0		△0-3	三 原	○0-1		○6-0
明 石 西	×0-7	△0-0		洲 本 実	×0-2	×0-6	

Bグループ	飾磨	八代	尼西	Fグループ	明北	宝西	網干
飾 磨		○1-0	○5-0	明 石 北		△1-1	○5-1
八代学院	×0-1		○2-0	宝 塚 西	△1-1		○1-0
尼 崎 西	×0-5	×0-2		網 干	×1-5	×0-1	

Cグループ	弘陵	御影	篠山	Gグループ	西東	西南	県西
神戸弘陵		△3-3	△3-3	西 宮 南		×1-4	○1-0
御 影	△3-3		○5-0	西 宮 南	×1-4		○1-0
篠 山 産	×0-9	×0-5		県 西 宮	×0-2	×0-1	

Dグループ	神戸	加東	豊岡	Hグループ	関学	御工	小野
神 戸		△0-0	○2-0	関 学		△1-1	○2-1
加古川東	△0-0		○1-0	御 影 工	△1-1		△1-1
豊 岡	×0-2	×0-1		小 野	×1-2	×1-1	

(決勝トーナメント)



【滝川第二】	【西宮東】	得点(滝)武田
山田栄一郎	GK 中前 恒夫	交代
井上 浩次	DF 大嶋 伸之	【滝二】
日下部孝夫	DF 高山 浩之	田代(武田)
鎌田 昌幸	DF 片山 敬章	西本(中村)
重野弘三郎	MF 山本 圭一	平川(小野山)
森本 義弘	MF 大本 貴紀	6 GK 14
藤井 泰之	MF 中川 達也	5 CK 3
堀家 健次	MF 堀家 健次	13 FK 19
武田 直人	FW 浜崎 哲寛	32 SH 4
小野山量大	FW 根矢 哲郎	
中村 圭吾	FW 山本 隆司	

【決勝戦戦評】両チームとも早いパスワークを身とする、よく似たタイプのチーム同士の対戦となった。立ち上がりは両チームともやや固さが見られたが、10分過ぎから滝川第二が次第にペースをつかみ、32分ゴール前の混戦から滝川第二が先取点を奪い、前半を1-0で終了した。後半にはいけると、個人技、戦術面のしっかりとした滝川第二が完全に主導権を握り、中盤でのボールを支配し、前線に好パスを出し、再三、西宮東のゴールを脅かすが、決定力に欠け、結局追加点をあげることが出来ないまま終了した。勝った滝川第二はフィニッシュに正確性が足りないのが惜まれる。一方敗れた西宮東は個々の力が噛み合わず、後半にはいと集中力も欠け、チームとしての力が発揮できなかったのが残念であった。 坪井正治

県高校
選手権

神戸地区予選 神戸、御影、御影工が県大会へ

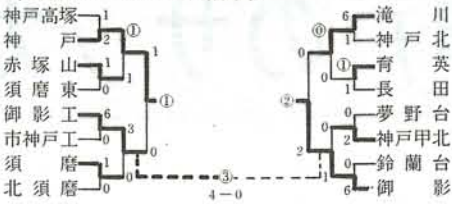
平成元年度兵庫県高等学校選手権大会兼第68回全国高等学校選手権大会神戸地区予選は、9月から市内高校グラウンドで、8ブロックによる1次リーグによって開始された。決勝トーナメントは1次リーグ各ブロックの上位2チームずつ、16チームによって行われ3位までを決定した。この結果、神戸、御影、御影工が、県総体ベスト8の滝川第二、神戸弘陵、八代学院とともに県大会に出場した。

◇兵庫県高校選手権大会 神戸地区予選結果<1次リーグ>

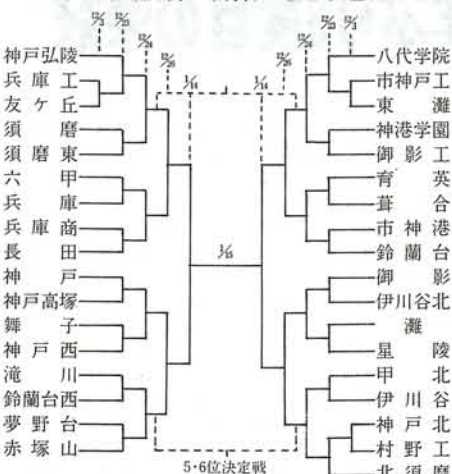
Aブロック	① 夢野台 3勝 ② 赤塚山 2勝1敗
Bブロック	① 長田 3勝 ② 鈴蘭台 2勝1敗
Cブロック	① 神戸高塚 3勝 ② 神戸甲北 2勝1敗
Dブロック	① 滝川 2勝1分 ② 神戸 1勝2分
Eブロック	① 伊川谷 1勝2敗 ④ 友が丘 2勝1敗
Fブロック	① 御影 3勝 ② 神戸北 2勝1敗
Gブロック	① 御影工 3勝 ② 須磨 2勝1敗
Hブロック	① 須磨東 3勝1分 ② 市神工 2勝1分1敗

⑤ 東灘 2分 2敗

決勝トーナメント結果



平成元年度高校新人戦神戸地区予選組み合わせ



第29回神戸市中学校総体

高倉中が優勝

平成元年度第29回神戸市中学総体サッカー選手権大会は、7月16日に開始され7月21、22、23、24日と市内グラウンドで行われた。決勝は高倉中と玉津中の間で争われ、終始主導権を握った高倉が玉津を圧倒し、5点を奪って優勝した。3位には桜が丘と垂水東が入った。



第41回県中学校大会

高丘2年ぶり3度目の優勝

第41回兵庫県中学校サッカー大会は、7月28日、伊丹市スポーツセンターで1回戦が行われ、御原、明石高丘、高倉、竜野東の有力校が順当勝ちして、ベスト4に進出した。準々決勝と決勝戦は29日伊丹市スポーツセンターで開催された。決勝は明淡対決となり、明石高丘が1-0で御原を下し、2年ぶり3度目の優勝を遂げた。明石高丘は開始早々、御原に攻め込まれる苦しい展開となったが、よくしのぎ、前半12分、御原のCKをカット、西海がそのままドリブルで持ち込み、決勝シュートを決めた。御原のエース興津は徹底的にマークされ、力を発揮できないまま終わった。

◇準決勝

明石高丘	1 (1-0)	0	高 倉
御 原	3 (1-0)	1	龍 野 東

◇決 勝

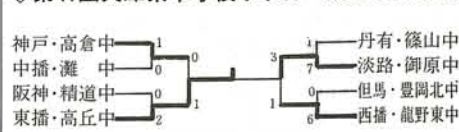
明石高丘	1 (1-0)	0	御 原
------	---------	---	-----

【高丘】

木 場	◇得点者
谷	GK 武 田
DF 船 瀬	【高】 西海
MF 倉 本	◇交替
FW 江 本	【高】 鳥之海
	【御】 谷田 (倉)
	本) 山口 (記虎)

7 GK 12
2 CK 7
5 FK 7
10 SH 4

◇第41回兵庫県中学校サッカー競技大会結果



トヨタカップ

クラブチーム世界一の座にイタリアのACミラン——。第10回トヨタカップ（ヨーロッパ・サウスアメリカ杯）は12月17日、6万2千人の大観衆を集めた快晴の東京・国立競技場で行われ、欧州代表のACミランが延長終了2分前、フリーキックから挙げた1点で、南米代表のナショナル・メデリン（コロンビア）を下した。欧州勢の優勝は、第6回ユベントス（イタリア）、第8回F.C.ホルト（ホルトガル）に次いで3度目。最優秀選手には決勝ゴールを決めたエバニが選ばれた。試合の様子は世界96か国・地域に放送された。

キラ星輝くNメデリン
“宇宙人”イギーター「守・攻」に活躍

全身に鋭い運動神経を張り巡らせ、細かくボールをつないで、壁パスから突破を図るメデリンと、中・長距離のパスで速攻をかけるACミラン。対照的な攻撃を見せる両チームだが、守備の面でも互いに譲らなかった。現在世界最高のリベロと言われる、イタリア代表のバレージを擁するACミランは、オフサイド・トラップを多用して、ナショナルの攻撃をことごとく寸断。一方、ナショナルはゾーン



クラブ世界一の王座についたACミラン

ディフェンスを敷いて、読みの良きで欧州最優秀選手のファンバステンらを封じ込めた。このため、ゴール前でのシーンが少なく、地味な展開に見えたが、局面での攻防は世界最高級であることを証明。決勝ゴールは延長後半、フリーキックから生まれた。両チーム無得点のままPK戦にもつれ込むかと思われた終了2分前、ファンバステンがドリブルで強引に切り込むのを、エレラがたまたま足を引っかけた。ペナルティエリアぎりぎり。小柄なエバニの左足から放たれたボールは、ナショナルのバックス陣のつくった壁の外側を巻くようにしてゴールに転がり込んだ。それまで鉄壁の守備を誇り、自信にあふれていたGKイギーターは、ドナド

ジーコに酔った

緑の芝で華麗な舞い

ワールド杯マスターズ



▲前半30分、GK ユッパがはじいたボールを落ち着いて決めるジーコ ▶スター軍団の南米代表チーム

世界のスーパースターの妙技が、日本のファンを魅了した。ワールドカップ・マスターズは9月13日、東京・国立競技場で、往年の名プレイヤーが南米と欧州に分かれて対戦し、ジーコ（ブラジル）を核とする南米代表が、3-1で欧州代表に勝った。南米代表は前半、ジーコからのパスを受けたバルダーノが先取点を決め、続いてジーコも加点。後半に入っても南米代表の優位は動かず、欧州代表を終了直前にルンメニゲが決めた1点に抑えた。最優秀選手にジーコ、優秀選手にはルンメニゲ（西ドイツ）が選ばれた。

ワールドカップの“同窓会”

ジーコ、ケンベス、ルンメニゲ、ロッシなど、これまでのワールドカップで活躍した選手が、緑の芝で織りなす妙技に、スタンドの

歓声が絶えることはなかった。選手の年齢はピークをこえ、プレーの絶対的な速さは落ちているが、高度な技術に支えられた戦術眼は、ますますさえていた。速さだけを求めるのではなく緩急の組み合わせ、パスの長短、方向の変化、ボール扱いの種類、時間のズレの利用など、サッカーのプレーは相反する2極のバランスで成り立っていることを、彼らのプレーは語りかけてくる。（上野勝幸 写真も）

南米代表＝ベレス（ブラジル）、レアンドロ（ブラジル）、ベレイラ（ウルグアイ）、エディニョ（ブラジル）、タランティニ（アルゼンチン）、オルビン（アルゼンチン）、バサレジャ（アルゼンチン）、パチスタ（ブラジル）、ジュニオール（ブラジル）、ファルカン（ブラジル）、ジーコ（ブラジル）、エデル（ブラジル）、ケンベス（アルゼンチン）、バルダーノ（アルゼンチン）、クビジャス（ペルー）

欧州代表＝ファフ（ベルギー）、ホッホ（デンマーク）、ジェンティーレ（イタリア）、ボッシ（フランス）、ペアグレン（デンマーク）、ブライトナー（西ドイツ）、ボニエク（ポーランド）、アントニオーニ（イタリア）、プロヒン（ソ連）、ロシュート（フランス）、ジムダ（ポーランド）、ロッシ（イタリア）、ルンメニゲ（西ドイツ）

南米代表	3 (2-0)	1	欧州代表
	(1-1)		

モンブラン発。愛するサッカー人へ。



マーカムSFホワイト
●カラー/ブラック×ホワイト・ブルー・レッド・ケリー ●サイズ/20.0-27.0cm
標準小売価格 ¥5,000



コーチャーCTR-21
●カラー/ブラック×ホワイト ●サイズ/21.0-28.0cm
標準小売価格 ¥5,600



コーチャーCTR-21-PS
●カラー/ブラック×ホワイト ●サイズ/22.0-28.0cm
標準小売価格 ¥5,200